伝えたい
残したい
わがまちの
誇り

ふるさとの情景

VOLUME 6

川上地区（川上神社の稚児相撲）

1

3

2

川上地区には、かつて7つの村落それぞれに神社がありましたが、明治40年に合祀され、川上神社が誕生しました。稚児相撲は、そのころから秋の収穫を祝う祭礼である例大祭にあわせて、毎年10月初旬に川上地区の氏子の一歳児の健康を祝福祈願する行事として行われてきました。

親に抱かれた子どもが行司役のもとで向かい合い、にらめっこをする稚児相撲。先に泣いた方が負けという勝ち負けよりも、むしろ土俵に上がることで福を授かるものと考えられています。

最近では少子化にともなって、近隣団地の住民や川上地区からの転出者の子どもの参加も多く、新しい時代に即した地域住民の絆を育む場となりつつあります。

4

ふるさとのひと　平井敏雄さん

今回稚児相撲に参加した子どもは12人で6つの取組がありました。近ごろは地元の子どもが少なくなってきたので、川上地区以外の子にも参加してもらっています。今も昔も子どもを思う親の気持ちは変わりません。私たちは子どもの健やかな成長を願う稚児相撲を純粋なお祭りとして、これからも続けていきたいと考えています。今年1月から12月生まれのお子さんがおられましたら、来年10月の祭礼にぜひご参加ください。

1稚児相撲の取組の様子2緑が美しい川上地区の里山風景3川上小学校区地域まちづくり協議会も模擬店などの手伝いで参加4川上神社の本殿

※稚児相撲参加への問い合わせは平井さんまで（☎64-9911）
※川上神社へは河内長野駅から南海バス「川上神社前」下車すぐ。